

第3回パパママ参加型

「じいじ&ばあばのための孫育て講座」を開催しました

10月27日（土）に、鳴門市消防本部にて第3回の孫育て講座を開催しました。

今回は、「お家の中でのヒヤリハット！あなたは子どもを守れますか?!」と題して、お家の中に潜む予期せぬ怪我や事故の予防と対処法について学ぶ講座となりました。



講師として日本赤十字社より幼児安全指導員2名にお越しいただきました。

※幼児安全指導員とは

赤十字で年間を通じて開催している5種類の安全講習会。そのうち、子どもに起こりやすい事故の予防や病気に対する手当などの知識と技術を伝えることができる指導員のことです。

総勢28人（祖父母世代12人、親世代5人、子11人）にご参加いただきました。

前回に続き、リピーターの参加者も数名いらっしゃいました。





今回のキッズコーナーは「鳴門市女性消防団うず小町」の方々にご協力いただきました！

市内の各幼稚園や学校で大好評の防火教室や、徳島県が発行した子どもの事故防止啓発絵本「ヒヤリ・ハットマン」の読み聞かせ、消防署見学を行っていただきました☆

【防火教室の様子】→

白い布は建物火災における煙に見立てています。

口を押さえながら低い姿勢でくぐる子どもたちの様子。



←【ヒヤリ・ハットマンの読み聞かせ】

徳島県が発行し、市内の保育園や図書館などに配布されているヒヤリ・ハットマンという絵本をご存じですか？

日常の中の子どもの事故（ヒヤリハットデビル）に気づく絵本です。

公園に隠れているヒヤリハットデビルを探す子どもたちの様子。

【消防署見学】→

今回は特別に、はしご車が登場！

子どもたちは大興奮！！

消防士の衣装を着ての写真撮影会や運転席に乗ったり、装備品を間近で見たり。

小さな消防団の結成だ！

マッシー本火事の元！！





命に直結するかも知れない子どもの怪我や事故。
成長に応じて気をつけるポイントも変わってきます。

例えば、生後3～4ヶ月の時期は寝返りが打てないからといって、ソファで寝かせていると足を突っ張って転げ落ちることも。

0～4歳での不慮の事故トップは「窒息」です。

マシュマロ、ゼリー、ピーナッツなど食べ物が原因であることが多いとのこと。人差し指と親指で作れる円の大きさの物は誤飲する可能性があります。

声が出せず、顔色が悪いときは窒息を疑ってください。

乳幼児期は背部叩打法で対処。手の親指の付け根の膨らみで背中を突き上げるように叩きましょう。

上手く吐き出せたとしても救急車を呼びましょう。

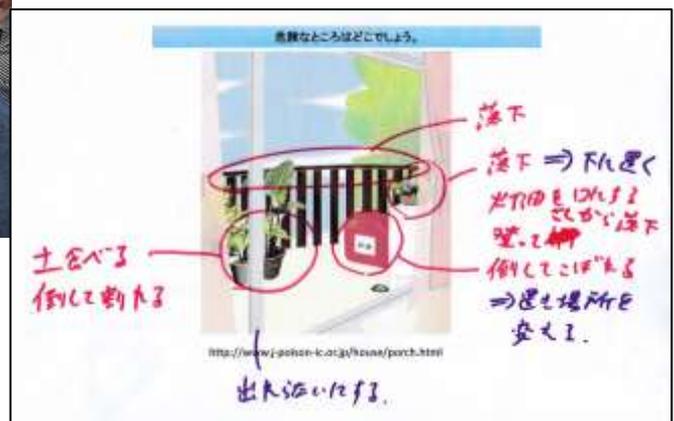
指を骨折したときの応急処置について熱心に学んでいます。

ハンカチやバンダナを用いて固定する方法。何度か繰り返すことで皆さんが習得できたようです。



【KYT（危険予知訓練）の様子】

洗面所、ベランダ、キッチン、リビング、寝室やトイレのイラストを元に、子どもにとって危険な場所について参加者同士で話し合いました。





【バスタオルを使って抱っこひもに】

被災時にも役立つ知識として、バスタオルを利用した簡易抱っこひもでの抱っこの仕方を学ぶ参加者。

親世代と祖父母世代の交流もみられました。

今回は、聞いて学ぶだけでなく、「自分たちで考えて学ぶ」講座となりました。

参加者同士の交流もある中で、自分だけでは気づけなかった危険にハットした方もいらっしゃったのではないのでしょうか。

【参加者の声をご紹介します】

- ・KYT（危険予知訓練）によるトレーニングは良かった。思わぬ所に危険が潜んでいることに気づかされました。
- ・実技があってわかりやすかった。
- ・年齢に関わりなく誰でも聴講でき、また、非常に有用な内容だった。
- ・応急処置の方法も学べたのが良かった。

平成30年度は、3回の講座を通じて

- ・親と祖父母の世代間交流
- ・今と昔の子育ての違いについて
- ・乳幼児に気をつけたい怪我と事故

について、参加者の皆様に知っていただきました。

また、今回は参加ができなかった市民の皆様にも、こちらの報告を通してそれぞれに考えるきっかけをお持ちいただければ幸いです。

そして、男性も女性も、家庭生活とのバランスをとりながら、職業生活においても活躍できる社会を形成しましょう！！